

令和7年コンサルティングエンジニアの活動

「コンサルティングエンジニア連盟(CE連盟)は建設コンサルタント
の社会的・経済的地位向上を目指す個人会員制の政治団体です」

令和7年4月 CE連盟会長 村田和夫

1. コンサルティングエンジニア(CE)連盟とは
2. 令和6年の活動と令和7年の方針
3. 職域代表議員の活躍
4. けんざか茂範候補予定者の政治活動を応援しよう！



令和7年2月19日に開催のCE連盟通常総会の風景 既往最大200名を超える出席者で会場は満席で後方には椅子席をご用意



村田会長のご挨拶

1

1. CE連盟とは

(1) 設立の目的

- ・2001(平成13)年設立の総務省届出の政治団体
- ・CEの社会的・経済的地位向上を目指す
- ・CEに理解ある政治家を職域代表として支援する

(2) 概要

- ・会員による活動と会費による運営
- ・会員は個人(企業は会員になれない)
- ・正会員は会費、一口 5千円以上、40才未満の準会員は無料

(3) 組織 本部と9つの支部、監査役で構成

本部 村田和夫 会長 松村友行 幹事長 森 敦 会計責任者
松原正明 会計担当者 和作幹雄 本部幹事

本部顧問 大島一哉 長谷川伸一 高野 登

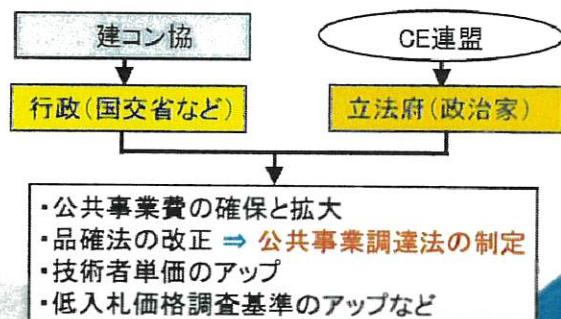
支部長 北海道	早野 亮	東北	菅原稔郎	関東	松永忠久
北 陸	青木和之	中部	青柳幹夫	近畿	竹内良太郎
中 国	小田秀樹	四国	天羽誠二	九州	田中 清

監査役 佐藤吉一 中川 裕

2

(4) 建設コンサルタンツ協会とCE連盟の連携

- ・建コン協は「企業が会員」で行政(国交省、地方自治体関係部署)へ働きかけ
- ・CE連盟は「個人が会員」で立法府(政治家)へ働き掛け



3

(5) 建設コンサルタントは政治に関心を！

◇建設コンサルタントと公共事業

- ・建設コンサルタントは社会資本整備の上流工程に関与する脚本家
- ・社会資本整備の大半は公共事業で執行されている
- ・公共事業が執行される場合の要件
 - ① 不特定多数の受益者がいる
 - ② 初期投資が必要
 - ③ 市場原理に任せては(一定の時間内に)必要な供給量を確保できない
 ・など
- ➡ 利益を得るのに時間がかかる。民間で対応するのは容易ではない
“民間で対応できるものは民間で？” “企業は利益が出なくなればやめる”
- ➡ 議会の審議(国民の合意)を経て公共事業は税金を使って事業執行する
公共事業は公益事業
(社会資本整備は次世代まで効果を及ぼすので建設国債が使える)

4

従って、国及び地方自治体において税金を使う公共事業は

国：国会での予算審議を経て、国の機関が事業を執行する
地方自治体：地方議会での予算審議を経て、地方自治体が事業を執行する

このように**公共事業は政治そのものである**

公共事業を担う**建設コンサルタントは政治にもっと関心を**

社会資本整備を通じて日本をよくするためには

建設コンサルタントは、社会資本整備に理解のある佐藤信秋参議院議員（後任、けんざか茂範候補予定者）と足立敏之参議院議員を応援してきたこと等積極的に政治に関与すべきである → CE連盟に積極的に入会を！

○建設コンサルタントが抱える法制度上の問題

- ▽（建築士などのような）業務独占資格でない → 誰でも参入できる
- ▽ 知的財産権は → 発注者に無償で譲渡
- ▽ 請負と委任（準委任）の2つの考え方 → 受注者に裁量がない
- ▽ 契約不適合時の無限責任 → 建設コンサルタントに過度の責任
- これらの問題が**建設コンサルタントの魅力の低下**にもつながっている

5

2. 令和6年の活動と令和7年の方針

2-1 令和6年の活動（一部令和7年）

- ・2月1日 品確議連（公共工事事品質確保に関する議員連盟）総会への要望書提出
R6/2/16技術者単価発表：平均5.5%UP 12年連続（R7は2/14 5.7% 13年連続）
- ・2月19日 連盟総会・講演会・意見交換会・役員会
- ・3月 会員へ連盟年次報告書の送付、指定代表者へ継続入会依頼
- ・6月17日 建コン協「業界展望を考える若手の会」との意見交換会
- ・6月19日 けんざか茂範候補者へ建コン協、CE連盟がそれぞれ推薦状を手交
- ・9月30日 第2回役員会
- ・11月6日 東京、同25日大阪開催のけんざか候補予定者励ます会、セミナーに出席
- ・11月21日 佐藤議員、足立議員、けんざか候補予定者との意見交換会を開催
（R7.6.18 若手の会との第2回意見交換会）
（R7.7 第27回参議院議員選挙予定）

6

◇将来を担う若手を連盟の政治活動の主役に！

○業界を担う若い世代の参加を期待しています

- ・連盟会員の平均年齢 管理職中心の平均年齢50才台
- ・若い世代の意見や提案を連盟活動で実現しよう！
- ・当業界の将来を担う若い世代の政治活動への理解を増進
→ 令和3年に準会員制度を創設～40才未満、会費無料
令和6年12月末現在の準会員数 614名

○業界の未来を担う若い世代との議論が重要

- R6.6.17 建コン協の「業界展望を考える若手の会」との意見交換会
- ・若い世代の政治アレルギーの解消が重要
- ・会社の上層部が協会、連盟の活動をよく知らない？ → 説明会の開催要
- ・好評価 → 単価UPの背景が聞けた。議員のお話を聞くのは有意義かも

若手の会と連盟との意見交換会全景

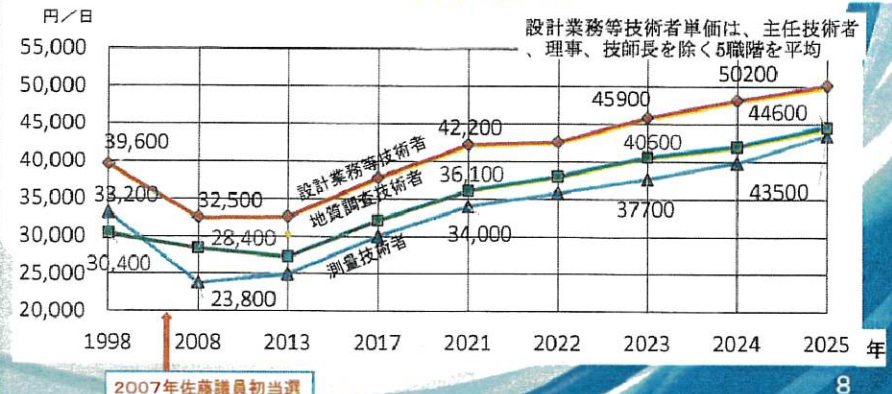
（若手の会：手前3名、左側4名、向こう正面左に青柳委員長の計8名）
（連盟：右側3名、正面中央に村田会長、右に松村幹事長、他に撮影者（森会計責任者）の計6名）



7

◇設計業務委託等技術者単価

- ・令和7年度技術者単価が単純平均**49,570円**、前年比**5.7%のアップ**
設計 **59,600円** 測量 **43,500円** 地質 **44,600円**
- ・2013（平成25）年度から**13年連続アップ**



8

令和7年1月吉日

公共工事品質確保に関する議員連盟 幹事長 佐藤 秋信 様
コンサルティングエンジニア連盟 会長 村田 和夫

令和7年度・予算編成にあたっての
コンサルティングエンジニア連盟からの要望

◆令和7年度・予算編成にあたっての要望

1. 当初予算の確実な拡大…大地震や豪雨災害などを含めて激甚化・頻発化する災害および社会インフラ老朽化に対し、防災・減災、インフラ整備、国土強靱化実施中期計画の策定と推進、公共事業の当初予算の増大
2. 建設コンサルタントの職業的魅力アップ（新4K推進、業務集中分散）
3. 設計業務委託等技術者単価の13年連続引き上げ
4. 受発注者の新たな働き方改革への継続支援、デジタル化、DX環境の整備、オンライン・テレワーク化の整備推進支援
5. 新技術の導入・整備・活用に伴う低入札調査基準価格の更なる上昇
6. 建設コンサルタント業界の存在・取り組みに対する国民の理解増進

◆地域からの具体的な要望

1. 低入札価格調査基準価格の工事並みアップ
2. 総合評価落札方式における賃上げ加算措置の撤廃
3. 自治体からの業務発注条件に建コン登録資格の明文化
4. 更なる工期の平準化と働き方改革（ウィークリースタンス）の推進
5. 地元中小企業でもBIM/CIM本格導入が可能なシステムの構築
6. 価格競争中心の地方自治体の入札制度改革（技術力による選定の推進）

3. 職域代表議員の活躍

職域代表の議員（佐藤議員、故足立議員）の活躍が、建設コンサルタント業界の認知度向上、地位向上に直結しています

○品確議連（公共工事品質確保に関する議員連盟）対応
R3から品確議連総会へ連盟出席、かつ連盟単独での要望書提出に
両議員が尽力 ➡ 技術者単価のUP

○品確法（公共工事の品質確保の促進に関する法律）の改正プロジェクト
チームの佐藤座長、故足立座長代理が4本柱を作成
国会にて審議 R6.6改正品確法の可決、成立

○国土強靱化実施中期計画の策定の推進へ
国土強靱化推進本部 佐藤本部長が「計画期間5年」の方針提示
政府が令和7年6月策定予定、事業規模20兆円以上へ

◇佐藤議員 ～参議院決算委員長、能登半島地震対策本部事務局長代理他
◇故足立議員～財政金融委員長、国土交通・災害対策特別委員会理事他

10

4. けんざか茂範候補予定者の政治活動を応援しよう！

◇けんざか氏のモットー「建設産業を元気に！」の3政策

1. 防災・減災、国土強靱化実施中期計画を計画的・継続的に！
2. 経済成長につながるインフラ整備～安定的な公共事業量の確保
3. 持続可能な建設産業へ～賃金UP、生産性向上、働き方改革

◇けんざか氏は大臣官房技術調査課長、近畿地整局長を経験し、建設産業界を熟知し、育成に理解があり課題に精通。技術者単価UP・働き方改革などを主導。



佐藤信秋参議院議員の
国土再生セミナーにて
見坂茂範候補予定者が
ご挨拶（R6.9.25）

◇けんざか茂範候補予定者

佐藤信秋参議院議員の後任にけんざか氏（57才）
建コン協及び連盟がR6.6に推薦状を手交

11

◇公共事業拡大への厳しい環境

- 国土強靱化の3巨頭（二階氏、根本氏、佐藤議員）が引退
- 衆議院での政権与党の過半数割れ
- 職域代表間の熾烈な競争
- 佐藤議員の引退（R7/7月）、足立議員の逝去（R6/12月）
- 職域代表が新人一人に（2人分の力を）

◇参議院比例代表選挙の制度

- 比例代表選挙では、
 - ➡ 候補者の個人名を投票用紙に「フルネーム」で記入する
 - ➡ 議席数は個人名と政党名の得票数の合計に応じて配分
 - ➡ 政党内での順位は個人名の記載の多い人から上位で当選
上位で当選すれば政党内での影響力が増大する

12